



飯沼中だより 3月

一人ひとりが輝き 学級 学年が輝く学校 平成30年3月1日(木)
飯沼中学校 TEL 746-7321 さわやか相談室 746-4572
<http://www.iinumachu.av-center.kasukabe.saitama.jp/> 生徒数 357名 (2月28日現在)

笑顔と感謝と感動の冬季オリンピック

校長 野田隆幸

校舎周りの木々も芽吹きはじめ、春の気配を感じる季節となりました。しかしながら、2月末にインフルエンザ罹患生徒が増えて、1年生2クラスの学級閉鎖を余儀なくされたところです。3月も引き続き、健康管理には十分ご注意ください。

さて、2月25日閉幕した、平昌オリンピックで日本は、金メダル4つ、銀5つ、銅4つを獲得する素晴らしい結果で、私たちに感動を与えてくれました。隣国での開催で、開会式から各競技を生中継や録画で観戦した方も多いのではないでしょ

うか。私も楽しみにしていた一人です。どの競技も、入賞やメダルの有無にかかわらず、日本人選手、日本チームの活躍が私たちを釘付けにしました。それぞれの選手には、それぞれのドラマがありますが、私たちに勇気と感動を与えてくれた理由にはいくつかの共通点があると感じました。

1つめは「**目標をしっかりと定め、練習に取り組んできた**」 「金メダルを」と周囲から期待をかけられた選手も、その重圧に負けることなく、また、自分自身にも負荷をかけて練習に取り組んできました。大きな怪我を克服した選手もいました。

2つめは「**結果を分析し、次の目標を明確にしている**」 期待通りの結果を出せた選手も、悔しい思いをした選手も、自分自身をしっかりと分析し、次にやるべき事を明確にしていました。「次のオリンピックでは、金メダルを目指します。」という選手の言葉に私たちも勇気をもらうことができました。

そして3つめは「**感謝の気持ちを忘れない**」 笑顔や涙で応えた試合後のインタビューでは、応援してくれた人や家族、指導やサポートしてくれたスタッフ、一緒に練習をした仲間に対して、必ず「ありがとうございました。」という言葉がありました。自分自身に勝つという力強い姿勢と、周囲に感謝する謙虚な姿は、私たちに生きる上での示唆を与えてくれました。9日から始まるパラリンピックでも、日本からアルペンスキーやアイスホッケーなどの5競技に38人が参加します。こちらも今から楽しみです。

本校でも平成29年度の閉幕を迎えます。15日に行われる卒業式では、飯沼中学校の大黒柱として活躍してくれた、122名の3年生へ卒業証書というメダルを渡します。

